

学 校 名	山形市立第十小学校 〒990-0835 山形市やよい二丁目6番1号 TEL 643-4102 FAX 645-8590	校長 洪 間 淳 一 研究主任 有 川 正 美
研 究 主 題	「かかわり合いの中で自らを高める子どもを目指して」 (7年次)	
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<p>わたし達は、毎日の生活の中で、「子ども達が元気に登校し、明るく学校生活を送り、そして笑顔で下校する」そんな姿を期待し、楽しみにしている。本校で行っている生活アンケートによると、子ども達が学校生活の中で「楽しい」と感じるのは、休み時間という回答が圧倒的に多く、友達との遊びの中で楽しさを感じる子どもが多いといえる。このことから、仲間づくりは、楽しく学校生活を送るための基盤になっているといえよう。一方で、学校生活の多くの時間を占めるのは各教科や総合的な学習の時間の授業である。授業における学習の楽しさを十分に感じさせていくことは、わたし達教師にとっての大きな使命であるといえる。</p> <p>授業中の子ども達の様子を見てみると、ぐっと集中していると感じることがある。手の挙げ方が積極的であったり、発言が次々とつながっていったり、話すときや他の発言を聞くときの表情が生き生きとしたりしているときである。もちろん活発な場面ばかりではなく、自分なりの考えを持ち、ノートに書くときなど、静寂だからこそ集中している様子を感じられることもある。そんなときは、子ども達一人一人が満足して授業を終えることができている。このように、本時の学習課題を解決する中で新たな気付きをもったり、自分の考えをよりよいものにしたたり、友達に対する見方や考え方が変わったりと、ともに学ぶ仲間と学習を広げたり深めたりする姿を本校では「自らが高まった」姿ととらえ、めざす子ども像としている。また、このような学習を積み重ね、学ぶことへの満足感や必要感を感じることは、友達とかかわりながら自分の生活をよりよいものにしていこうとする子ども達を育てることにもつながっていきと考えている。では、子ども達が仲間と共に主体的に学習するためには、どのようなことが必要なのであろうか。本校では、これまでの取り組みの中で、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子ども達の思いを大切にしながら学習課題の設定を工夫すること。 ②進んで仲間とかかわりながら、一人一人の考えを広げたり、深めたりすること。 ③ふり返りを大切にすることで、自分自身の変容に気づくこと。 <p>の3つを授業の柱として大切にしてきた。特に、ともに学ぶ仲間から認められること、仲間と教え合ったり励まし合ったりすることが意欲を高め、それぞれの学びを高めていくことが期待できると考えている。学校で行う授業のよさは、「他とかかわり合う中で自分自身を成長させることができること」である。特に、人と人とのかかわりは、相手意識を芽生えさせ、自分を表現したり、相手を受け止めようとしたりする力を身につけさせてくれるものである。一人一人がよりよく成長するためには、人とのかかわりは欠かせない。したがって、進んで友達とかかわりを持ち、主体的に学ぼうとする子ども達を育てていくためにこの主題を設定した。</p> <p>本校では、「かかわり合いの中で自らを高める子どもをめざして」を研究主題として今年度で7年目になる。昨年度は、それまでの研究を土台に、研究の日常化を図りながら、教師の意識を「教師が～すれば」から「子どもが～なるには」と変えていくことで、絶えず子ども達が主体的に生活をつくっていくことができるような学校づくりを進めてきたが、主体的に学ぶ子ども達を育てていこうという教師の意識を共有することはできた。今年度も継続して、自分事として課題を捉え学ぼうとする「意欲」をもち、友達と「交流」しながら学ぶよ</p>	

	<p>さを感じ、自分の学びをふり返りながら新たな「挑戦」をしようという願いをもつ子ども達を育てていきたいと考えている。また、研究の日常化については、形式的な話し合いになってしまい、大きな成果を得ることができなかった。今年度は、教師が自らの教室を開き、同僚と授業や子ども達について日常的に語り合えるような雰囲気作りにも力を入れていきたいと考えている。</p>
<p>研究の目標・内容</p>	<p>1. 自分の考え（課題）を持ち、主体的に学ぶ子どもを育てる。〈意欲・自己と対象とのかかわり〉 <子ども達> ○学習材や友達の考えとの出会いから疑問をもったり、ふり返りから課題意識をもったりしながら、自分事として課題を捉え学習を進めていく。 ・日々の生活の中で生まれた課題を、主体的に解決しようとする。</p> <p><教師> ○学習の様子を見取り、子ども達の疑問や課題意識をもとに課題作りを工夫する。 ○教材研究、単元構成に力を入れる。 ・日々の生活の中で、どんなことにも主体的に取り組めるような支援を心がける。</p> <p>2. 仲間とかかわり、学びを高める子どもを育てる。〈交流・自己と他者とかかわり〉 <子ども達> ○仲間とかかわりながら学ぶよさ、楽しさを感じる。 ・自分の考えをわかりやすく伝えようとする。 ・お互いの考えを認め合おうとする。</p> <p><教師> ○学習の様子を見取り、話し合いを深めたり広げたりするために、コーディネートに力を入れる。 ・お互いに安心して考えを伝え合える学級作りを心がける。</p> <p>3. 自己の高まりを自覚し、新たな問いをもつ子どもを育てる。〈挑戦・自己と自己とかかわり〉 <子ども達> ○ふり返りから新たな課題をもつことができる。また、学んだことを生活や学習に進んで生かしていこうとする。 ・ふり返ることの意味や大切さを感じ、自分を見つめることができる。</p> <p><教師> ○どんな場面で、どのようなふり返りをすればよいか考え、ふり返りの場を設定する。 ・本気で学び合う学級作りを心がけることで、様々な場面で主体的にふり返ろうとする子ども達を育てる。</p>
	<p>☆研究の目標に迫るために、次のような方法で研究を深めて行く。</p> <p>1. 研究の方法 (上のような子ども達を育てる上で、一人一人が重点を設けて授業を行い、その成果を全員で共有していく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が授業を公開し、授業を通して子どもの変容を見取る。 ・授業研究会に向けて、事前研究会を開催し、授業の視点をはっきりさせる。事後研究会では、授業の視点に沿った話し合いをし、次につなぐ。

<p>研究の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案授業研究会後、研究推進委員会を開き、成果と課題を明らかにする。 ・授業研究会後、研究だよりを通して成果や課題を全員に広げる。 ・実践したことを教育実践集にまとめる。 <p>◎各学年で、授業作りや子ども達の育ちを気軽に語り合うことができるよう雰囲気作りを心がける。</p> <p>2. 授業研究会の進め方</p> <p>(1) 提案授業：学年部から1授業を提案する。学年部で事前研を2回行う。2回目は推進委員も参加する。(事後研を全体では行わないが、特別支援の授業を全員で1授業参観する。)</p> <p>(2) マイ授業：提案授業者以外が授業を行う。学年部主体の研究会で、事前研究会と事後研究会は学年部で行う。授業後、全員に情報を発信し、学び合う。研究の内容によっては、講師を招く場合もある。</p> <p>(2) オープン授業：授業の1部でも良いので、学年で声をかけ合い授業を見合う。授業作りについてのアドバイスをもらったり、子ども達の様子を見合ったりする。(日常化に向けて)</p> <p>3. 先進校視察 (先進校を視察し、情報を共有する。)</p> <p>4. 研究実践集の作成 (自分の取り組みをふり返り、今後の指導に生かす。)</p>																																				
<p>研究の計画</p>	<table border="0"> <tr> <td>4月</td> <td>研究計画・研究組織づくり</td> </tr> <tr> <td>* 4月3日(木)</td> <td>研究全体会</td> </tr> <tr> <td>6月30日(月)</td> <td>事前研①(中学年部)</td> </tr> <tr> <td>7月4日(火)</td> <td>事前研②(中学年部・推進委員)</td> </tr> <tr> <td>7月11日(金)</td> <td>研究全体会(中学年提案授業)</td> </tr> <tr> <td>7月30日(水)</td> <td>研究全体会(ふり返り)</td> </tr> <tr> <td>8月25日(月)</td> <td>研究全体会(研修会)</td> </tr> <tr> <td>9月29日(月)</td> <td>事前研①(低学年部)</td> </tr> <tr> <td>10月14日(火)</td> <td>事前研②(低学年部・推進委員)</td> </tr> <tr> <td>10月24日(金)</td> <td>研究全体会(低学年部提案授業)</td> </tr> <tr> <td>11月20日(木)</td> <td>事前研①(高学年部)</td> </tr> <tr> <td>11月21日(金)</td> <td>特別支援提案授業(全員参観)</td> </tr> <tr> <td>11月 未定()</td> <td>事前研②(高学年部・推進委員)</td> </tr> <tr> <td>12月 8日(月)</td> <td>研究全体会(高学年部提案授業)</td> </tr> <tr> <td>12月22日(月)</td> <td>研究全体会(ふり返り、研究実践集作成の提案)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>研究実践集作成・学年ふり返り</td> </tr> <tr> <td>2月16日(月)</td> <td>研究全体会(年間反省)</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>次年度へ向けての計画立案 研究実践集発送</td> </tr> </table> <p>◎<日常化へ向けて> 学年・学年部の推進委員を中心に進め、7/30 12/22 の全体会で取り組みを伝え合う。</p>	4月	研究計画・研究組織づくり	* 4月3日(木)	研究全体会	6月30日(月)	事前研①(中学年部)	7月4日(火)	事前研②(中学年部・推進委員)	7月11日(金)	研究全体会(中学年提案授業)	7月30日(水)	研究全体会(ふり返り)	8月25日(月)	研究全体会(研修会)	9月29日(月)	事前研①(低学年部)	10月14日(火)	事前研②(低学年部・推進委員)	10月24日(金)	研究全体会(低学年部提案授業)	11月20日(木)	事前研①(高学年部)	11月21日(金)	特別支援提案授業(全員参観)	11月 未定()	事前研②(高学年部・推進委員)	12月 8日(月)	研究全体会(高学年部提案授業)	12月22日(月)	研究全体会(ふり返り、研究実践集作成の提案)	1月	研究実践集作成・学年ふり返り	2月16日(月)	研究全体会(年間反省)	3月	次年度へ向けての計画立案 研究実践集発送
4月	研究計画・研究組織づくり																																				
* 4月3日(木)	研究全体会																																				
6月30日(月)	事前研①(中学年部)																																				
7月4日(火)	事前研②(中学年部・推進委員)																																				
7月11日(金)	研究全体会(中学年提案授業)																																				
7月30日(水)	研究全体会(ふり返り)																																				
8月25日(月)	研究全体会(研修会)																																				
9月29日(月)	事前研①(低学年部)																																				
10月14日(火)	事前研②(低学年部・推進委員)																																				
10月24日(金)	研究全体会(低学年部提案授業)																																				
11月20日(木)	事前研①(高学年部)																																				
11月21日(金)	特別支援提案授業(全員参観)																																				
11月 未定()	事前研②(高学年部・推進委員)																																				
12月 8日(月)	研究全体会(高学年部提案授業)																																				
12月22日(月)	研究全体会(ふり返り、研究実践集作成の提案)																																				
1月	研究実践集作成・学年ふり返り																																				
2月16日(月)	研究全体会(年間反省)																																				
3月	次年度へ向けての計画立案 研究実践集発送																																				

